

# 第11回静岡県高齢者福祉研究大会

## 研究発表募集要綱

平成21年から開催して参りました静岡県高齢者福祉研究大会も回を重ね、今年で11回目の開催となります。

日頃から高齢者の暮らしを支える施設職員が、より良いケアを目指して取り組んだ実践や研究を伝え合う本大会は、お互いに刺激し合い、成長する場となり、それが県内の介護サービスの向上に繋がっているものと思います。

介護の魅力を再認識し、介護を楽しくやりがいのあるものに変えていけるよう、また静岡の介護力の更なる向上を目指して、施設職員から学生の皆様まで、今回も多数のご応募をお待ちしております。

### 『未来へつなぐ ふじのくにの介護力』

～笑顔あふれる福祉の魅力～

日程：令和2年9月11日（金）9：50～16：30

（研究発表は11：30～12：50と13：40～16：30に行います）

会場：総合コンベンション施設 プラサ ヴェルデ（沼津市） 1・3・4階

#### 応募資格

静岡県老人福祉施設協議会々員施設の職員、県内の大学・専門学校等の学生及び職員

#### 募集題数

72題 1施設1題とし、先着順で72題に達し次第、締め切らせていただきます。

#### 発表方法

マイクロソフト PowerPoint2013 を使用

- ◆発表時間は1題12分、交代時間を含み合計20分です。
- ◆発表者は2名以内とします。

#### 応募方法

所定の研究発表申込書に必要事項をご記入いただき、**5月31日(日)**までに**Eメール**で事務局へお申込み下さい。

- ◆発表申込書は、県老施協のホームページからダウンロードして下さい。

#### 抄録の提出

抄録は指定の様式によりパソコン(Word)で作成し、**6月30日(火)**までに**Eメール**で事務局へご提出下さい。(提出していただいた抄録は直接印刷製本して、開催日に大会冊子として参加者に配布します。)

- ◆抄録の様式は、県老施協のホームページからダウンロードして下さい。

**パワーポイント  
データの提出**

発表用パワーポイントデータは、**7月31日(金)**までに事務局へ、USBメモリに保存したものを郵送等で提出して下さい。

(提出していただいた媒体は後日お返しします)

- ◆発表会場で使用するパワーポイントはPowerPoint2013です。
- ◆発表時間の配分を考慮のうえデータを作成して下さい。
- ◆データの作成の詳細はPowerPointデータの作り方を参照して下さい。

**応募の流れ  
申込先**

応募の流れ	申込先など	締切
①研究発表の 応募	静岡県老人福祉施設協議会事務局 〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-70 静岡県総合社会福祉会館内 TEL<054>653-2311 FAX<054>653-2312 E-mail sizurosi@vesta.ocn.ne.jp	申込書はホームページからダウンロードできます。 <b>5月31日(日)</b> 必着
②抄録原稿の 提出	上記事務局へメールでお願いします。 必ず <b>所定の様式</b> でお願いします。	抄録原稿様式はホームページからダウンロードできます。 <b>6月30日(火)</b> 必着
③パワーポイントデータ の提出	上記事務局へ (USBメモリ) 必ず <b>郵送(宅配便可)</b> でお願いします。 *データサイズが大きくなるためメール送信は不可(媒体は後日返却します。)	<b>7月31日(金)</b> 必着 <u>提出後の差替えは お受けできません</u>
④発表(当日)	<b>令和2年9月11日(金)</b> 総合コンベンション施設 プラサヴェルデ(沼津市)	

## 研究発表のテーマ

※次のテーマの中からお選びください。

番号	テーマ	趣旨	発表例
1	中重度ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアに関する実践を通し、その人らしい暮らしを支える。</li> <li>・認知症予防に関する先駆的な取り組みを実施し、地域で暮らす。</li> <li>・医療との連携を図り、健康への専門的支援を実践する。</li> <li>・施設内外の専門職と協働し、チームケアの実践が期待される。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①認知症ケアの実践</li> <li>②ケアプランの取組</li> <li>③認知症カフェ等との連携</li> <li>④身体拘束廃止の取組</li> <li>⑤医療的ケアの実践</li> <li>⑥看取りケアの取組</li> <li>⑦感染症予防の取組</li> <li>⑧褥瘡防止の取組</li> <li>⑨入浴・排泄・食事の専門的な取組</li> </ol>
2	暮らしを楽しむ工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアの実践において、介護・看護・栄養等多職種連携によるチームケアから生まれるその人らしい生活。</li> <li>・8050問題等、家族への支援が必要となる現在、相談支援として家族へのアプローチを考える。</li> <li>・自立支援に向けた取組みの工夫。</li> <li>・養護・軽費等専門的支援。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①アセスメントシートの活用</li> <li>②自立支援に向けた取組</li> <li>③口腔機能ケア・栄養マネジメントの取組</li> <li>④レクリエーションの取組</li> <li>⑤介護技術向上の取組</li> <li>⑥家族支援の取組</li> <li>⑦買い物支援・外出支援の取組</li> <li>⑧在宅復帰への支援</li> <li>⑨介護予防の取組</li> </ol>
3	多職種協働・連携の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ケアの実践において、介護・看護・リハビリ・栄養・調理等のスタッフの総合的なチームケアが不可欠となっている。</li> <li>・施設内外の専門職との多職種連携、チームケアの実践が期待されている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体拘束廃止の取組</li> <li>②褥瘡防止の取組</li> <li>③感染症防止の取組</li> <li>④リスクマネジメント（事故防止）の取組</li> <li>⑤施設内カンファレンスの取組</li> <li>⑥アセスメントシート活用</li> <li>⑦連携パス活用</li> </ol>
4	魅力ある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。施設（事業所）がどのような人材育成、処遇改善、介護機器等に関する取組みを行っているか検証する。</li> <li>・EPA等、外国人労働者への配慮を行い、介護力向上に関する支援。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①働き方改革への取組</li> <li>②職場研修制度、資格取得の取組</li> <li>③人事管理、人事評価、労務管理</li> <li>④職員満足度を高める取組</li> <li>⑤介護ロボット・AI・ICT</li> <li>⑥外国人技能実習生、EPA等への取組</li> <li>⑦介護実習生の受入れ</li> <li>⑧人材確保の取組・定年の見直しの取組</li> </ol>
5	在宅サービスの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所サービス、通所介護サービス、訪問介護、地域包括支援センター等の実践例を通し、介護、介護予防、総合事業等の在り方を学ぶ。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護、医療、介護予防、住まい、生活支援等の一体的提供体制の構築が課題となっている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域包括支援センターの実践例</li> <li>②居宅介護支援サービスの実践例</li> <li>③短期入所サービスの実践例</li> <li>④通所介護サービスの実践例</li> <li>⑤訪問介護サービスの実践例</li> <li>⑥訪問看護サービスの実践例</li> <li>⑦新しい総合事業の取組</li> </ol>
6	社会福祉法人における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「我が事・丸ごとの地域づくり」「地域共生型サービスの位置づけ」等が掲げられ、地域福祉推進が求められている。</li> <li>・社会福祉法人の使命と地域貢献等の取組みについて考える。</li> <li>・施設の運営管理、施設設備、災害・防災対策等についての取組事例を学ぶ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①我がこと・丸ごとの共生社会づくり</li> <li>②地域・まちづくりの取組</li> <li>③地域貢献</li> <li>④公益的な取組</li> <li>⑤施設の運営管理</li> <li>⑥施設整備</li> <li>⑦災害・防災対策</li> <li>⑧防災協定・施設間交流の取組</li> <li>⑨ボランティアの発掘・養成</li> </ol>

# 研究発表の抄録の書き方

発表者は、この抄録の書き方を参考に抄録を作成し、提出して下さい。

抄録は、手書きでなくパソコンを用いて Word で作成してください。様式は県老施協のホームページよりダウンロードできます。(必ず指定の様式A 4版1枚にまとめて下さい。)また、提出していただいた抄録は、直接印刷製本しますので誤字、脱字等にご注意下さい。

研究発表のテーマの番号は、必ずご記入下さい。

文字の書体はMS明朝体で、大きさは演題12ポイント、副題11ポイント、法人・施設名や職種・発表者名等は11ポイントで記入して下さい。

本文は10ポイントで記入し、一行を全角23文字で左右2ブロックの枠内に収まるよう構成して下さい。図表等を入れる場合も必ずこの範囲に収めて下さい。

本文は原則として、〈取り組んだ課題〉、〈具体的な取組〉、〈活動の成果と評価〉、〈今後の課題〉、〈参考資料〉の順に構成して下さい。

文章構成や振り分けは発表者にお任せしますので、見やすくわかりやすい抄録を作成して下さい。また、提出期限**6月30日(火)**をお守り下さい。

## 発表事例のプライバシーの保護に十分配慮すること(必ずご確認ください)

- ・人物の特定が可能な氏名、イニシャル又は「呼び名」は記載しない。
- ・人物の住所、出身市町村名を記載しない。
- ・氏名、住所ともイニシャル(例：R子、U.N、S市、K町など)を使用しない。  
(記載する場合はAさん、Bさん、A市、B町などとする)
- ・生年月日を記載しない。(年齢の記載は可)
- ・事例の内容については、論旨に影響を生じない範囲で内容を変更し、文中にそのことを明記するか、発表に関する同意を本人や保護者から得た上で、それを明記する。  
(記載例)「なお、プライバシー保護のため、一部の記載内容に対して論旨に影響を生じない程度の変更を加えた。」

## PowerPoint データの作り方

データは、Microsoft PowerPoint を使用し作成して下さい。大会当日の発表用パソコンは PowerPoint2013 を予定していますので、PowerPoint 2016 以降で作成した場合には、保存時に PowerPoint 旧バージョンに変換して下さい。

データは 20MB 以内を目安に作成し、動画・アニメーションの使用はできるだけ避け、データ量を考慮して下さい。（発表用パソコンの規格により動画再生等ができない場合があります。）聴衆者に研究発表内容をわかりやすく説明するデータ作成に努めて下さい。

ご利用者人物写真等を使用する場合は、ご本人やご家族の承諾を得て下さい。

当日は、発表者用にマイクを 1 本準備しますが、音声データや BGM 等の再生用のマイク等は準備できません。また、音量の調整もできませんのであらかじめご了承下さい。

発表時間は 12 分です。スライドの枚数は 10～20 枚程度にして下さい。大会終了後スライドデータを PDF に変換して県老協ホームページで公開します。

**\* データ提出後の差替えは例外なく禁止します。**

**データは余裕を持って作成し、内容は十分に確認してから提出してください。**

※発表参加申込書は、静岡県老人福祉施設協議会ホームページからダウンロードして下さい。  
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

※発表参加申込書及び抄録は、静岡県老人福祉施設協議会宛に E メールで提出して下さい。  
(FAX では受け付けません)

E-mail : [sizurosi@vesta.ocn.ne.jp](mailto:sizurosi@vesta.ocn.ne.jp)

## 当日の発表方法について

発表は事務局で準備したパソコンを使用します。また、パソコンの操作は発表者本人にさせていただくことを基本とします。

発表は一題あたり12分とし、会場移動、準備を含めて8分の合計20分間で進めます。質疑応答は行いません。質問票を回収し後日ご返答頂きます。

聴衆者が発表会場間を移動して発表を聴くため、全ての発表会場で発表開始時刻を合せています。発表が長引いたときには次の発表時間の調整のため発表を中断させていただくことがあります。

発表時間が限られていますので、施設概要は抄録に記載し、発表の中では極力省略して、演題に関わることに限定して下さい。

抄録以外の関連資料は、大会冊子に加えることができません。ただし、発表会場内で配布することは可能です。必要枚数（下記収容人数参考）を印刷してご用意下さい。（各発表者が配布して下さい。原則主催者側ではお手伝いできません。）

(参考) プラサヴェルデ各発表会場の収容人数

A会場	3階（301会議室）	140人
B会場	3階（302会議室）	140人
C会場	3階（コンベンションホールB）	252人
D会場	4階（401会議室）	140人
E会場	4階（402会議室）	140人
F会場	4階（407会議室）	140人

静岡県老人福祉施設協議会  
 会長 種岡 養一様

第11回 静岡県高齢者福祉研究大会 研究発表参加申込書

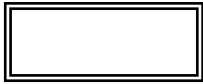
演 題		
副 題(ある場合には)		
施 設 種 別		
ふりがな 施設・学校名		
住 所		〒
電話番号・FAX 番号		TEL FAX
Email アドレス		
発 表 予 定 者	ふりがな 職名・氏名	
	ふりがな 職名・氏名	
担当者職・氏名		
備 考		

※この申込書は、静岡県老人福祉施設協議会宛にEメールで提出してください。  
 (FAX では受け付けません)

※申込み期限 5月31日(日)

ただし、先着順で72題に達し次第、締め切らせていただきます。

提出先：静岡県老人福祉施設協議会事務局（大会実行委員会）  
 E-mail : [sizurosi@vesta.ocn.ne.jp](mailto:sizurosi@vesta.ocn.ne.jp)  
 T E L : 054 (653) 2311



【発表テーマ】 番号            テーマ

募集要綱の研究発表のテーマの番号とテーマ名を上欄に記入して下さい。

演 題 :	
副 題 :	
種別・ <sup>ふりがな</sup> 施設名	
職 名 ・ <sup>ふりがな</sup> 発表者名	.
	.
TEL (            )            -	FAX (            )            -
E-mail :	http://
施設概要	



## 記入例

令和 2年 月 日

静岡県老人福祉施設協議会  
会長 種岡 養一様

提出日をご記入ください

### 第11回 静岡県高齢者福祉研究大会 研究発表参加申込書

演 題	認知症高齢者の生活リズム改善を目指して	
副 題(ある場合には)	～昼夜逆転の事例改善を通じて～	
施 設 種 別	特別養護老人ホーム	
ふりがな 施設・学校名	すんぷのその 特別養護老人ホーム 駿府の園	
住 所	〒420-1856 静岡市葵区駿府町 1-70	
電話番号・FAX 番号	(TEL) 054-653-2311 (FAX) 054-653-2312	
Email アドレス	sizurosi@vesta.ocn.ne.jp	
発表 予定 者	ふりがな 職名・氏名	すんぷ いちろう 相談員 駿府 一郎
	ふりがな 職名・氏名	あおい やすこ 介護員 葵 康子
担当者職・氏名	事務員 静岡 一郎	
備 考	平日昼間に連絡できる方をご記入ください	

発表者は2名まで

※この申込書は、静岡県老人福祉施設協議会宛にEメールで提出してください。  
(FAX では受け付けません)

※申込み期限 5月31日(日)

ただし、先着順で72題に達し次第、締め切らせていただきます。

提出先：静岡県老人福祉施設協議会事務局（大会実行委員会）  
 E-mail：sizurosi@vesta.ocn.ne.jp  
 TEL：054（653）2311

ここは記入しない

研究テーマの分類番号、テーマ名を忘れずにご記入下さい

【発表テーマ】 番号 ① テーマ 認知症ケアの専門性

募集要綱の研究発表のテーマの番号とテーマ名を上欄に記入して下さい。

演 題 : 認知症高齢者の生活リズム改善を目指して

副題があればご記入下さい

副 題 : ~昼夜逆転の事例改善を通じて~

種別・施設名 特別養護老人ホーム 駿府の園

施設種別と施設名をご記入下さい  
施設名にはふりがなを付けて下さい

職 名 ・ 発表者名

相談員 ・ 駿府 一郎

介護員 ・ 葵 康子

職種と氏名をご記入下さい  
氏名にふりがなを付けて下さい  
発表者は2名までとします  
発表者にはお弁当を用意します

TEL (054) 653 - 2311

FAX (054) 653 -

E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

http://www.shizu-roshiky...

施設概要 当施設は、施設のメールアドレスと、ホームページがあればそのアドレスも記入

の葵区に位置し、施設のすぐそばには駿府城公園があり、施設内にもたくさんの草花が生き生きとしている自然に囲まれた施設です。

施設概要はわかりやすく簡潔に

<取り組んだ課題>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<具体的な取組>

発表の内容と同程度、又は発表の要点のみをまとめていただいても結構です、又、写真や図表等も利用するなど各人で工夫してみてください。  
枠の範囲内で記載してください。

<活動の成果と評価>

<今後の課題>

文字の書体はMS明朝体で、大きさは演題12ポイント、副題11ポイント、施設名や発表者名等は11ポイント、本文（施設概要含む）は10ポイントで記入して下さい。

※この原稿を直接印刷製本して、大会冊子として開催日に配布します。